

・春学期

留学も残り3ヵ月を切り、もうすぐドイツの生活から離れると考えると、とても速かった留學生活だと考えるようになりました。留學当初は日本が恋しくなかった私ですが、もうすぐ帰国するとなると、急に日本が恋しくなり、帰国後の生活が楽しみになったことを記憶しています。

・イギリス

5月にイギリスに旅行してきました。自分が興味のあるヴァイキングの博物館がYorkという都市にあったので、ロンドンから電車で約2時間かけて「Jorvik Viking Center」に行きました。ここには、9世紀から10世紀頃の、ヴァイキングが暮らしていたYorkを再現した街並みを、乗り物に乗って巡るアトラクションがありました。人間はアニメトロニクスで再現され、音、臭いも再現されており、とてもリアルでした。その他にも、実際に出土した人間の骨や靴、生活に使用された道具などが展示されており、満足度がとても高かったです。ロンドンでは、自然史博物館、シャーロックホームズの家、チャイナタウン、パブに行ってドイツに帰りました。





1 枚目) Jorvik Viking Center 2 枚目) ヴァイキング時代の靴

3 枚目) ビッグベン 4 枚目) ロンドン自然史博物館

・その他の旅行

その他には国外ではスイス、国内では「メルセデス博物館」、「フェルクリンゲン製鉄所」等に行きました。ノルウェーのヴァイキング博物館に行きたかったのですが、また体調を崩してしまい、行くことができませんでした。それが唯一の惜しかった点です。

ドイツに来てから、数えきれないほど体調を崩しました。その都度日本から持って生きていた薬で対処していましたが、帰国前には、全て使い切ってしまったいました。友達に聞くと、日本の薬はドイツの薬よりも効きが良いため、ドイツの薬では聞かない場合があるとのことでした。私のように、体調を崩しやすい人は、ヨーロッパに旅行する際、多めに薬を持参する方が良いと思います。



1 枚目) スイス・ツェルマット (マッターホルンを背景に)

2 枚目) スイス・グリンデルヴァルト(アイガーの麓町)

3 枚目) メルセデス博物館

4 枚目) フェルクリンゲン製鉄所

・ 期末テスト

ドイツ語の期末テストが7月の後半にありました。受講生の中で2人組をつくり、その2人と先生の質問形式でテストが行われました。完璧に理解することはできませんでしたが、大体的内容は理解し、それに返答することができたことから、自分のドイツ語能力の成長を感じ、とても嬉しかったです。やはり他の言語を学ぶ場合には、細かいことは気にせず、大まかに読み取り、間違いを恐れずに返答することがとても大事だと実感しました。

・ 学び

約20年間生活してきた日本を離れ、生活様式が大きく異なるドイツでの生活は、全体的に見てやはり不便な部分が大きかったです。お風呂がないため、毎日シャワーで体を洗い、口に合うごはんが多くあるわけではなく、時間通りに運行する電車が約半分といった具合に、多くの部分で困惑しましたが、そのおかげで日本の生活のありがたみを実感することができました。もちろん良い部分も多くありました。ドイツには、休日に公園にピクニックに行き外でボール遊びをしたり、太陽の下で本をアイマスクにして寝転がったりする、日本にはない健康的な文化が多く存在していました。こういった文化が日本でも見られたら、活気がより溢れる国になっていくと強く感じました。